

Interview

梅本 啓太さん (就農4年目)

友人に誘われて、同じタイミングで農業をやり始めました。まず、農林大学校の研修コースに通い始めました。そのコース以外にもさらに農業のことを勉強したいと考え、市の農林課から認定農業者の方を紹介してもらい、1年ほど研修をしました。

現在は小日向で、ナス・上州ネギ・ズッキーニを栽培し、5～6月にかけてはズッキーニを栽培しています。群馬県の主要品目のナスと上州ネギは、ある程度価格も補償されており、特にナスは半年間も収穫ができるため、メインの作物にしました。

いざ、農業を始めてみると、苗代や道具などに結構な費用がかかるのでこの補助金制度はすごくありがたいです。そのおかげで、道具などを購入することができています。

現在、就農して4年目ですが、補助金制度や周りの人に支えられ、順調に農業ができていると思います。ただ、昨今各地域で問題となっている鳥獣の被害があり、対策を行っています。



これから新規就農される人へ、正直、農家を営むのは大変です。何をやるにしても自分を律し、動かなければなりません。しかし、裏を返せば自分の感じたように、やりたいようにできることが最大の魅力です。どうしてうまくいったのか、うまくいかなかったのかを試行錯誤することに非常にやりがいを感じています。人のまねをしても良いし、わからないことがあれば市や農協などに遠慮なく頼ればよいと思います。私も安中の農業の先輩方のように、信念をもって仕事をしていきたいです。



Interview

清水 聡さん (就農2年目)

中宿でいちごを栽培しています。高崎市内のいちご園の前をよく通っていたので、いちごを使ったビジネスをやってみたいと思ったのがきっかけです。いちごを栽培するにあたって、高崎市内のいちご園に1年半ほど研修に行きました。今でも相談に乗ってもらうなど、関係は続いています。

いちごはハウス栽培のため、ある程度の土地が必要になります。その土地探しが大変で、ハウスを建てるとなると、貸してくれる人がなかなか見つかりませんでした。今借りている所有者の方が草刈りを始めるタイミングで、飛び込みで手伝いました。そのおかげで土地を貸していただけることになり、農園を始めることができました。とても感謝しています。

私も国からの補助金を受けています。初期投資を含め、ハウスを建てるなどの設備投資をしました。この補助金のおかげでスムーズに就農することができました。あとは、農家の人はそれぞれ作っているものが違うので、その作物の栽培事情などを考慮してもらえれば、なお良いかなと思います。

これから新規就農される皆さんへ、まず農業は気持ちが一番大切で、それさえあればとてもやりがいのある仕事だと教わってきました。おかげさまで、この前行われた第37回群馬県いちご品評会では、銅賞を獲得することができました。しっかりとした覚悟をもって取り組んでいけば必ずうまくいきます。ぜひ、頑張ってもらいたいです。本当は収穫が終わる頃に子どもたちに開放していちご狩りをしてもらいたかったのですが、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったのは残念でした。それは来年の目標にしています。

